

2007年(平成19年)3月期
中間決算説明会

知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社
2006年11月15日

◆ 目 次 ◆

- * 当中間期決算概況および通期業績見通し
- * 中期経営計画「WIT2008」の基本的な考え方と重点目標
- * トピックス　～ナガセグループの製造機能について～

当中間期の決算概況
2006年9月期

中間決算の概況(連結)

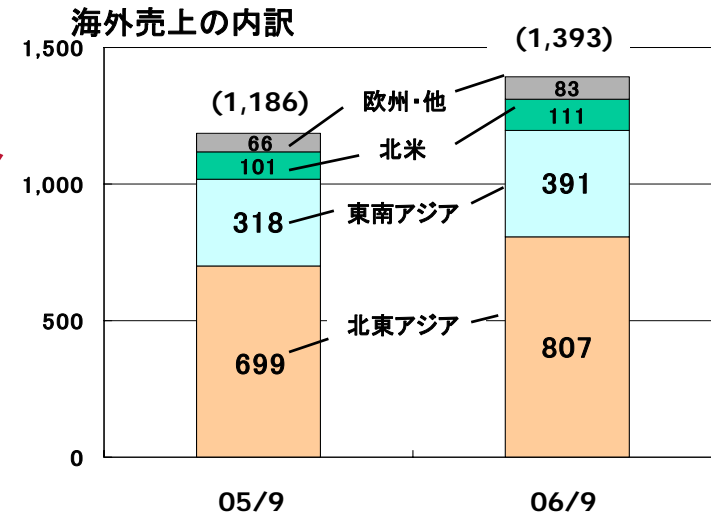
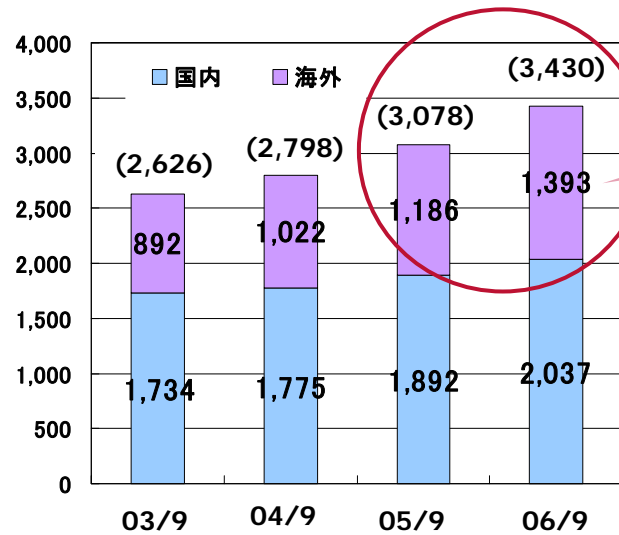
(単位:億円)
(億円未満切捨て表示)

	06/9	05/9	増減	前年同期比	(参考) 当初見通し	コメント
売上高	3,430	3,078	+351	111%	3,470	アジア向け好調継続 電子大幅増加
売上総利益	361	327	+33	110%	367	
営業利益	106	88	+17	120%	107	売上・売上総利益増加 新規連結
経常利益	114	99	+14	114%	113	
中間純利益	64	75	-10	86%	67	特別利益 ・固定資産売却益 前年同期比 ▲10億 ・投資有価証券売却益 同▲7億
1株当り中間純利益	50円68銭	59円08銭	-8円40銭	86%	—	

地域別売上高

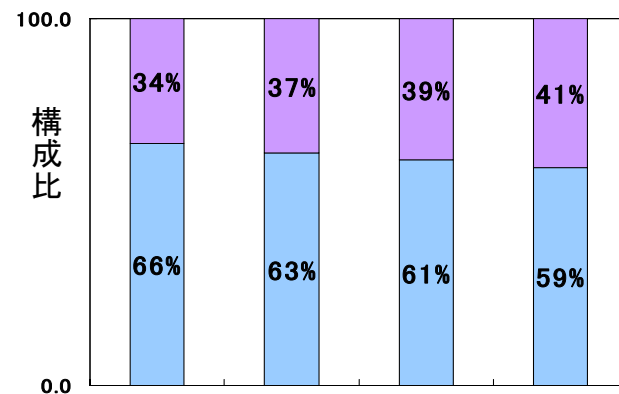
(単位:億円)

売上 3,430億円 前年同期比 351億円増加



— 海外売上比率UP (39%→41%) —

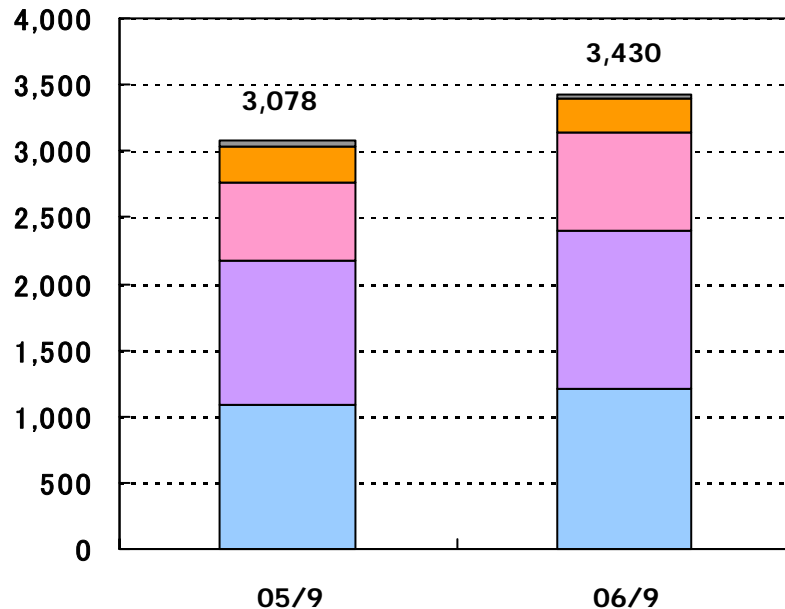
- ・ Gチャイナの華南地域における自動車関連およびエレクトロニクス関連好調
- ・ タイの合成樹脂関連伸長



セグメント別売上高

(単位:億円)

セグメント別売上概況 (前年同期比)



	2005年9月	2006年9月
■ 化粧品	1,087	1,206
■ 合成樹脂	1,094	1,201
■ 電子	581	738
■ ライフサイエンス	277	255
■ その他	38	29

化粧品 + 119億円 (111%)

- 塗料原料・ウレタン等の自動車関連増加
- 機能性色素等の色材関連堅調
- ナガセムテックス製品の売上が伸長

合成樹脂 + 106億円 (110%)

- 自動車関連は華南地域ほか全般的に好調
- 海外での精密機器用樹脂および成形設備増加
- Gチャイナでのメディア用機能性樹脂は減少

電子 + 156億円 (127%)

- 液晶関連の部品ビジネス大幅に伸長
- 半導体等の精密研磨関連ビジネス好調
- 液晶・半導体用薬液および管理装置好調

ライフサイエンス ▲21億円 (92%)

- 医薬中間体は減少
- 農薬中間体・発酵生産物関連は微増
- メディカルケア事業一部撤退により減少

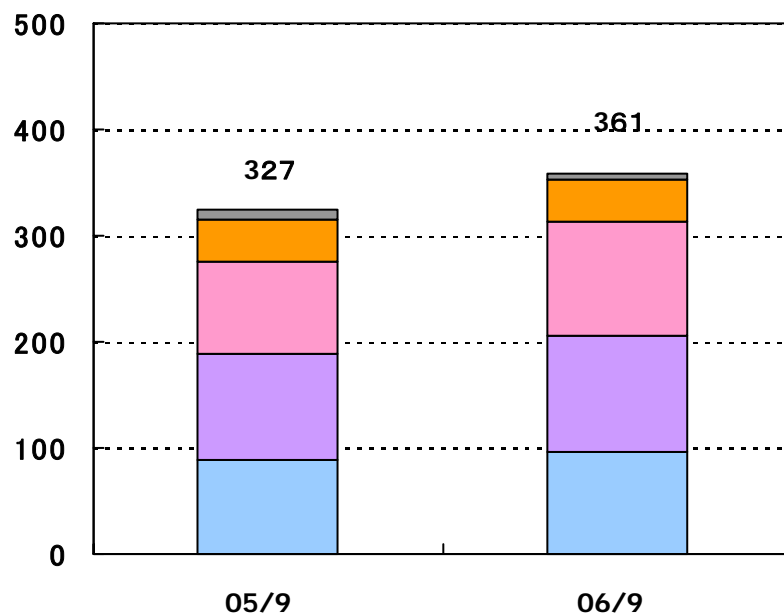
その他 ▲8億円 (77%)

- DVD関連の一般消費者向け販売は減少

セグメント別売上総利益

(単位:億円)

売上総利益 361億円 前年同期比 33億円増加



電子を中心とした売上の増加によるもの

セグメント別売上利益概況 (前年同期比)

化成品 + 7億円 (109%)

合成樹脂 + 9億円 (109%)

電子 + 21億円 (125%)

ライフサイエンス ▲2億円 (95%)

その他 ▲3億円 (61%)

	2005年9月	2006年9月
化成品	89	97
合成樹脂	100	109
電子	86	108
ライフサイエンス	42	39
その他	8	5

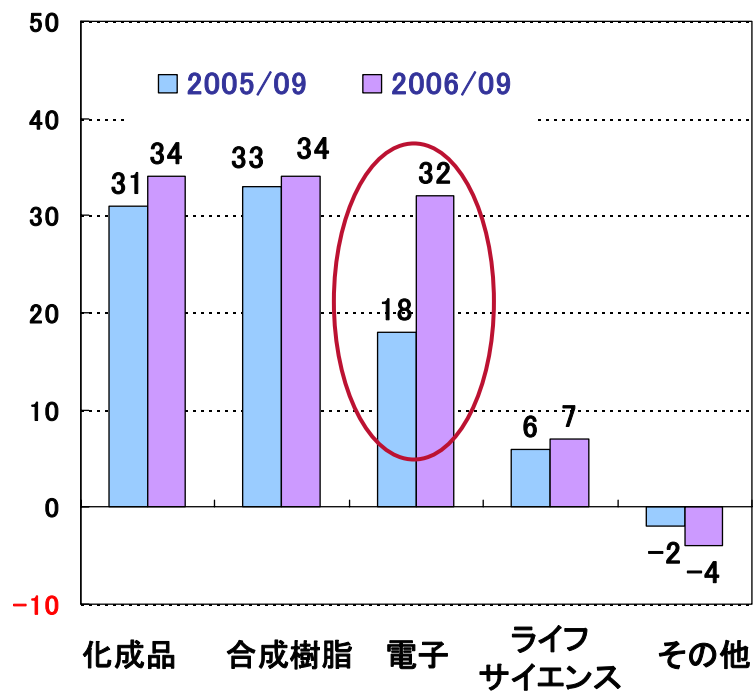
営業利益

(単位: 億円)

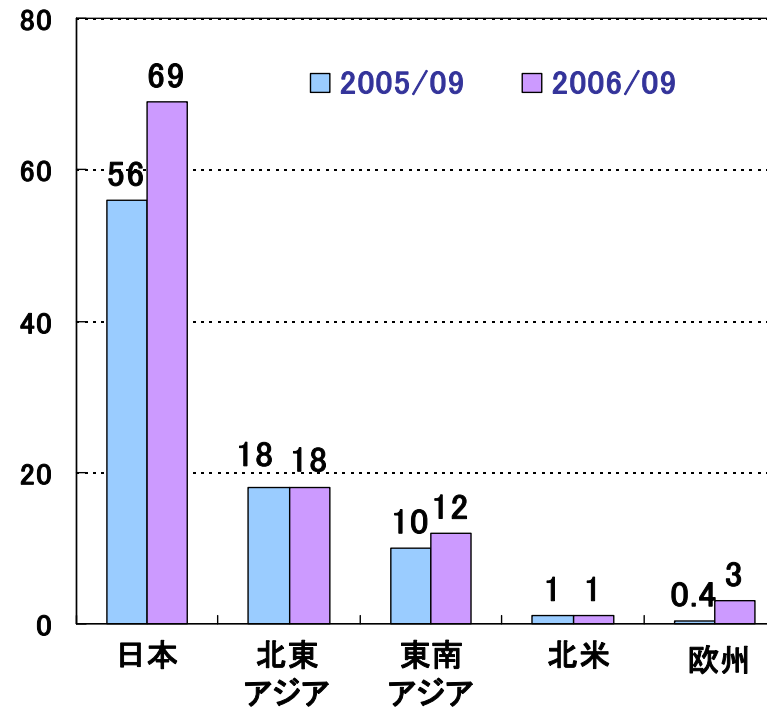
106億円 前年同期比120% 17億円増加

- 化成品・合成樹脂は増収の影響により堅調に推移
- 電子は単体、ナガセケムテックスの増益に加え、新規連結による増益

<事業セグメント別営業利益>



<所在地セグメント別営業利益>



営業外損益・特別損益

(単位:億円)

＜営業外損益＞

	06/9	05/9	増減	前年同期比
営業外損益	8	11	▲3	73%
金融収支	3	5	▲1	75%
その他	4	6	▲1	71%

＜特別損益＞

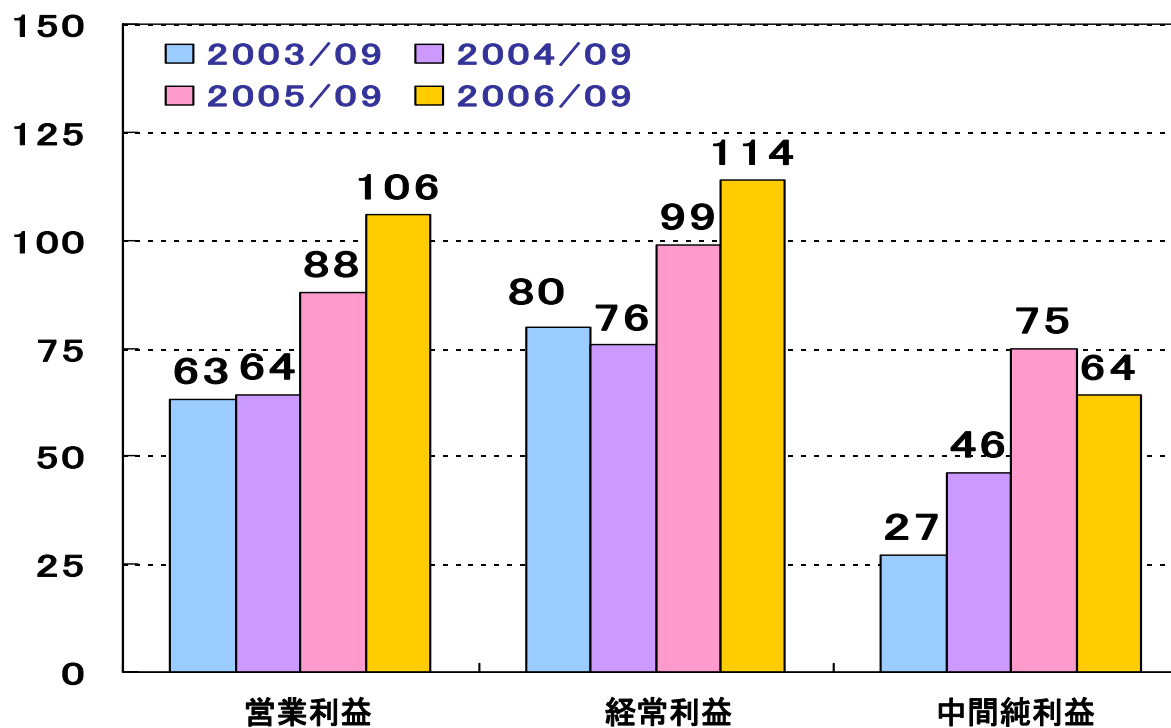
	06/9	05/9	増減
特別利益	3	21	▲18
固定資産売却益	0	10	▲10
投資有価証券売却益	2	10	▲7
その他	－	1	▲1
特別損失	1	2	▲1
固定資産廃棄損	0	1	▲0
その他	0	1	▲0

經常利益・中間純利益

(単位:億円)

經常利益：114億円 前年同期比115% 14億円増加

中間純利益：64億円 前年同期比86% 10億円減少



主な貸借対照表の増減

①増収に伴う売上債権増加 ②投資有価証券の時価下落

(単位: 億円)

《資産》	06/9	06/3	増減	《負債及び純資産》	06/9	06/3	増減
現金及び預金	209	235	▲26	支払手形及び買掛金	1,326	1,188	+138
受取手形及び売掛金	2,103	1,946	+156	短期借入金	157	143	+14
棚卸資産	394	402	▲8	コマーシャルペーパー	—	50	▲50
その他流動資産	83	78	+4	その他流動負債	213	221	▲7
有形固定資産	314	308	+5	長期借入金	60	55	+5
投資有価証券	869	933	▲64	退職給付引当金	69	59	+10
その他固定資産	92	63	+29	その他固定負債	203	227	▲23
				株主資本	1,647	1,595	+51
				(うち自己株式)	(▲54)	(▲56)	(▲1)
				少数株主持分	60	57	+2
				その他純資産	327	370	▲43
				(自己資本比率)	(48.5%)	(49.6%)	
資産合計	4,065	3,967	+98	負債及び純資産合計	4,065	3,967	+98

キャッシュフローの状況

(単位:億円)

税前利益増加

	06/9	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	64	税前利益 116億円 減価償却費 18億円 運転資金 0億円 法人税等の支払額 ▲40億円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲26	固定資産取得 ▲16億円 固定資産売却 1億円 有価証券取得 ▲7億円 有価証券売却 3億円
財務活動による キャッシュ・フロー	▲62	短期借入金 6億円 コマーシャルペーパー ▲50億円 配当金の支払 ▲19億円
現金及び 現金同等物の期末残高	210	前期末比18億円の減少

主な連結子会社の業績

(単位:百万円)

	社名	売上高	前年 同期比	営業利益	前年 同期比	中間純利益	前年 同期比
単体	長瀬産業	246,357	108%	4,025	120%	5,362	99%
製造会社	ナガセケムテックス	12,147	113%	1,372	157%	854	75%
	東拓工業	3,626	100%	277	132%	197	37%
販売会社	ナガセプラスチック	6,361	114%	40	128%	19	107%
	報映産業	5,825	98%	43	61%	32	38%
	長瀬カラーケミカル	6,913	101%	78	180%	35	210%
海外	ナガセ香港	26,476	132%	646	109%	557	115%
	ナガセシンガポール	15,913	114%	420	110%	369	110%
	ナガセタイランド	12,952	136%	558	148%	397	146%

通期の業績見通し
2007年3月期

2007年3月期(通期)業績見通し

(単位: 億円)

	2007年3月期 (中間期時点予想)	2007年3月期 (当初予想)	2006年3月期 (実績)	前年比 (%)
売上高	6,940	6,940	6,480	107%
売上総利益	735	735	676	109%
営業利益	212	212	175	120%
経常利益	227	227	187	121%
当期純利益	136	136	128	105%

セグメント別売上高の通期見通し

(単位: 億円)

	2007年3月期 (中間期時点予想)	2007年3月期 (当初予想)	2006年3月期 (実績)	前年比
化成品	2,430	2,347	2,222	109%
合成樹脂	2,464	2,569	2,292	107%
電子	1,460	1,408	1,320	111%
ライフ サイエンス	526	536	564	93%
その他	60	80	79	75%
合計	6,940	6,940	6,480	107%

中期経営計画「*WIT2008*」の
基本的な考え方と重点目標

新・中期経営計画「WIT2008」基本戦略

持続的成長への体質強化

重点分野への積極投資

事業基盤の拡大

高収への構造転換

事業ポートフォリオ戦略の深化

健全な財務体質の維持

連結経営体制の整備

リスクマネジメントの徹底

内部体制の強化

現場主義

人材の(質・量)充実

技術・情報力の強化

ナガセらしさの継承

新・中期経営計画「WIT2008」目標

2008年度

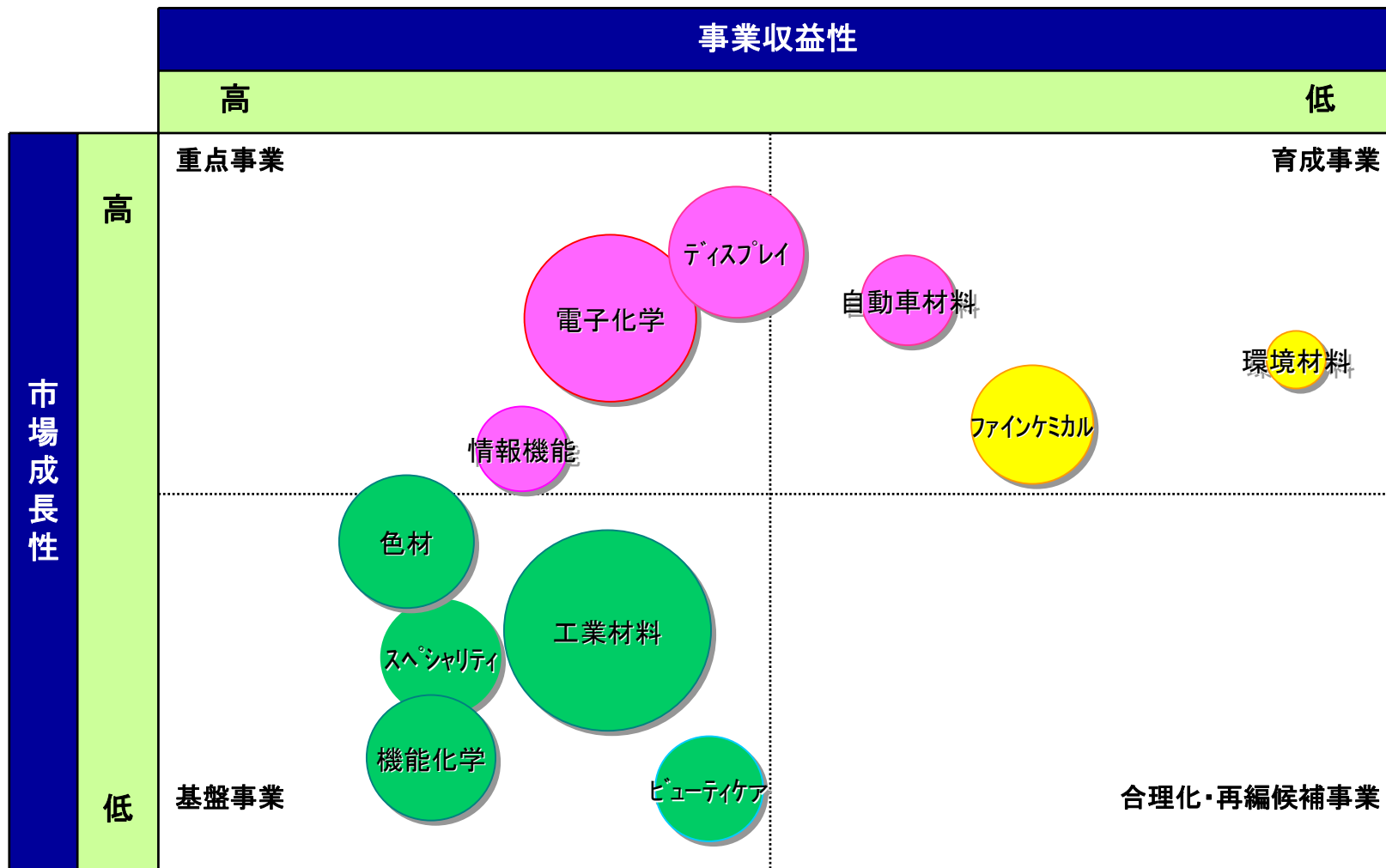
連結売上高

7,700 億円

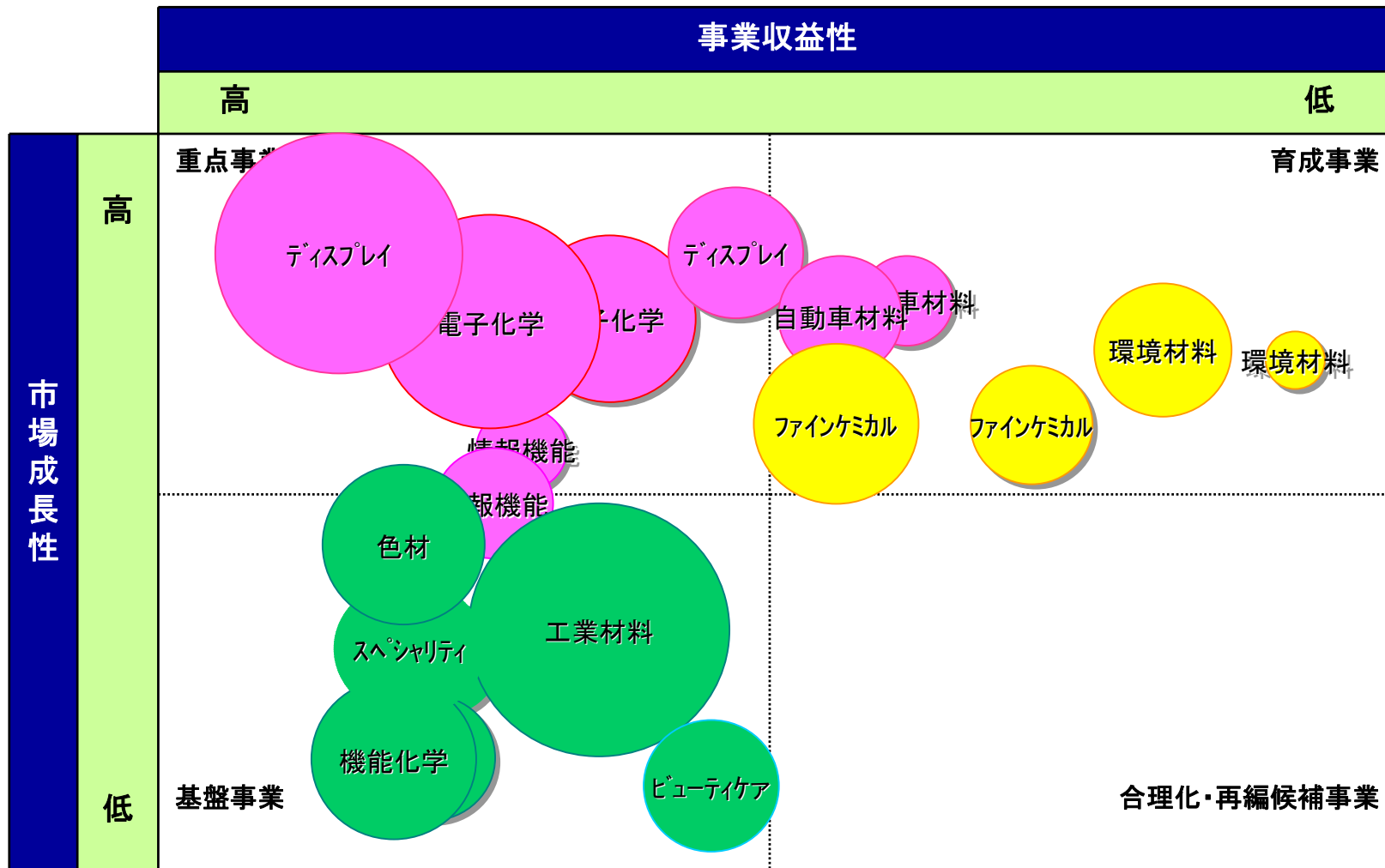
連結営業利益

240 億円

「WIT2008」 事業ポートフォリオ戦略の深化



「WIT2008」 事業ポートフォリオ戦略の深化（目指す姿）



「WIT2008」 高収益事業の伸長**■電子化学事業**

・グループ製造会社製品の事業拡大

(ナガセケムテックス(株)等 ①変性エポキシ樹脂事業 ②液晶・半導体用フトリソケミカル関連)

■ディスプレイ事業

・製造・加工事業の拡充

(液晶用光学フィルム・ガラス加工、液晶周辺部材の加工・組立など)

■その他の主な育成事業

・自動車材料事業 (グローバルアカウント拡大、戦略的提携及び合併事業の拡大)

・ファインケミカル事業 (ナガセケムテックス(株)等の有機合成、バイオ技術による製造事業)

・環境材料事業 (木質複合材料「プラスッヰ」事業の拡大)

投資総額 300億円(3年間)

「WIT2008」 基盤事業の充実

■工業材料事業

- ・機能性樹脂(エンブラ)、汎用樹脂のグレーターチャイナ地区での事業拡大継続
- ・精密機器(プリンタ、複写機、液晶関連等)、デジタルメディア用途に注力
- ・成長地域での拠点拡充(ベトナム、インド等)

■機能化学品事業

- ・樹脂添加剤、塗料原料、コモディティーケミカル、ウレタン関連、フィルタ関連の5領域
- ・海外でのビジネス拡大(グレーターチャイナ地区等アジアでの拡大)
- ・物流機能の充実

■色材事業及びスペシャリティケミカル事業

- ・「色と光」に関係したデジタル関連用途等、成長分野に注力
- ・ナガセケムテックス(株)製品(有機導電性透明材料:テナロン)等の拡大
- ・有機合成、界面活性剤事業拡大と中国からの調達、製造委託等

「WIT2008」各事業に共通するナガセの強み

■海外戦略

- ・グレーターチャイナ地区深耕（製造拠点拡大等）
- ・アセアン地区拡大 → ベトナム、インドへの展開（現地法人化検討）

■製造・加工戦略

- ・ナガセケムテックス(株)を中心に製造事業の拡充（電子関連、医薬関連）
- ・ファブレスを含む製造・加工事業の拡大
→ 「製造・加工ビジネス」と「商社ビジネス」を両輪としてベストバランス化

「WIT2008」 内部体制の強化

■健全な財務体質の維持

- ・キャッシュフロー重視、営業キャッシュフロー改善
- ・資産の見直し継続

■リスクマネジメントの徹底

- ・事業構造の転換に伴う新たなリスクの認識・把握・抑制
- ・法規管理と内部統制の徹底

■連結経営体制の整備

- ・グループ経営の深化と運営体制の整備

■人材の質・量の充実

- ・「多様性」と「専門性」の確保と育成

「WIT2008」の進捗状況

■重点分野への積極投資

- ・液晶ガラスパネルユニットの薄型加工の合併会社本格稼働、追加設備投資決定(台湾)
- ・リン脂質の量産用設備の新設(ナガセケムテックス・福知山)

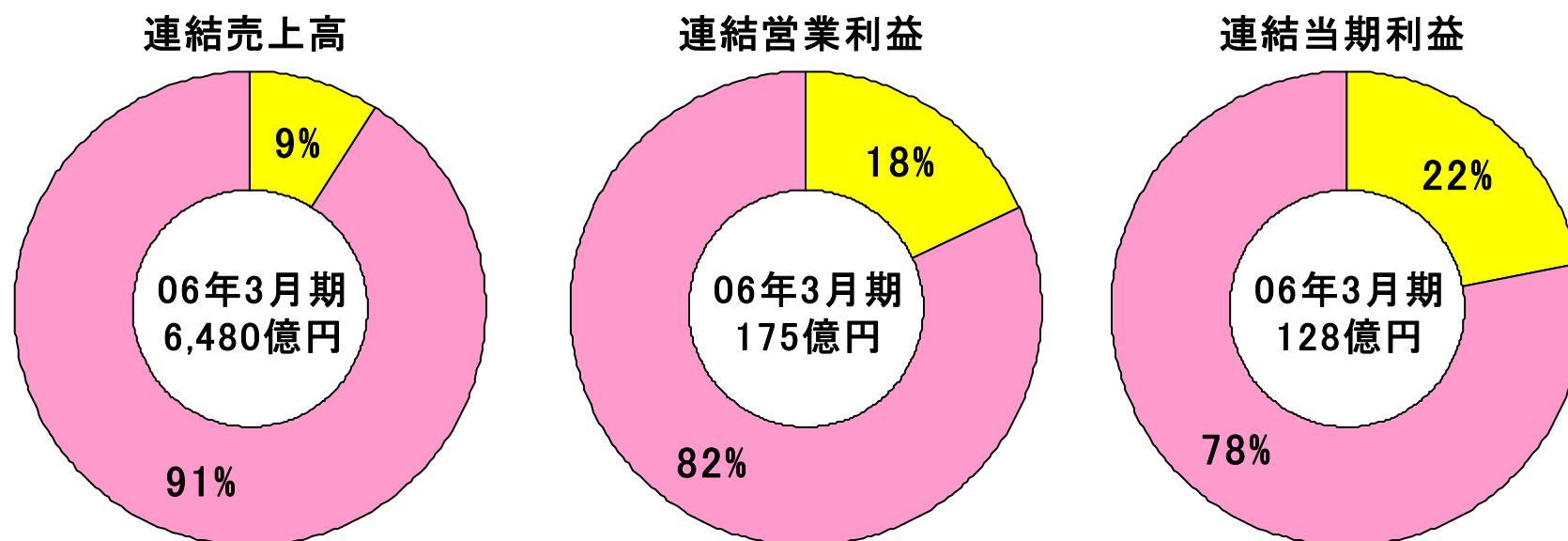
■事業基盤の充実

- ・合成樹脂着色事業の合併会社が生産開始(ベトナム)
- ・輸出加工区の現地法人が本格稼働(フィリピン)
- ・事業拡大に対応するため現地法人設立(中国広東省深圳市)
- ・現地法人設立申請中(インド)

ナガセグループの製造機能について

売上・収益に占める割合

■ 製造会社
■ その他

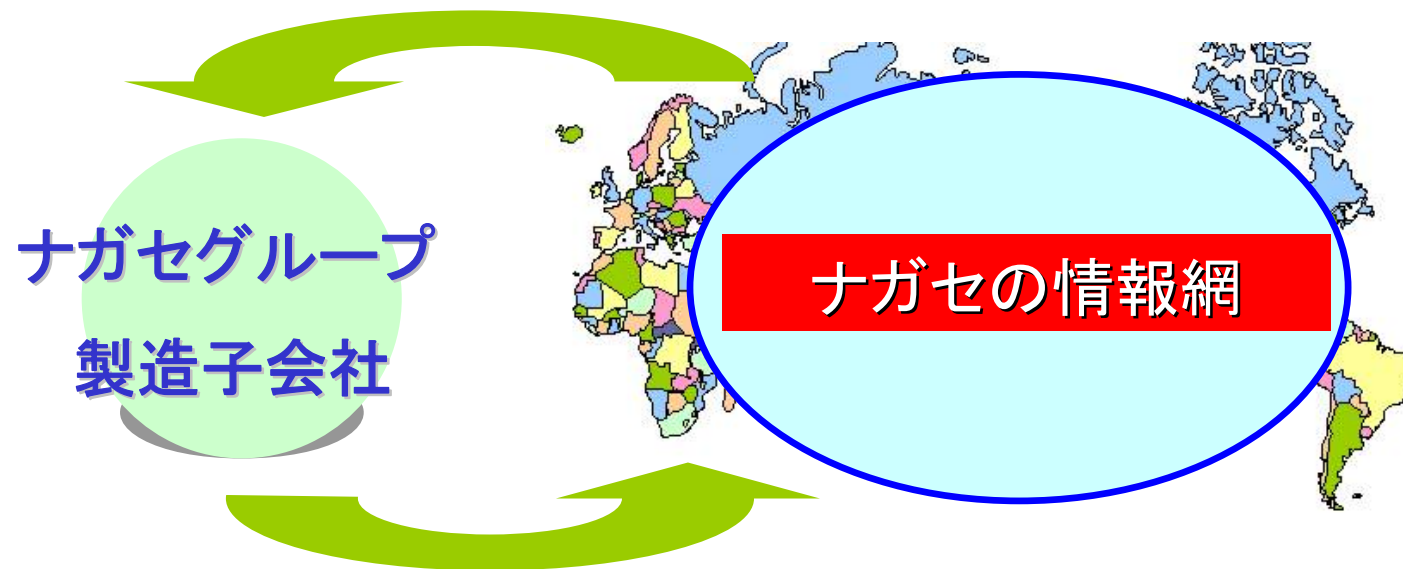


※連結製造会社の単純合算数値を使用

製造機能を持つ意図・効果

商社としての情報収集能力の有効活用

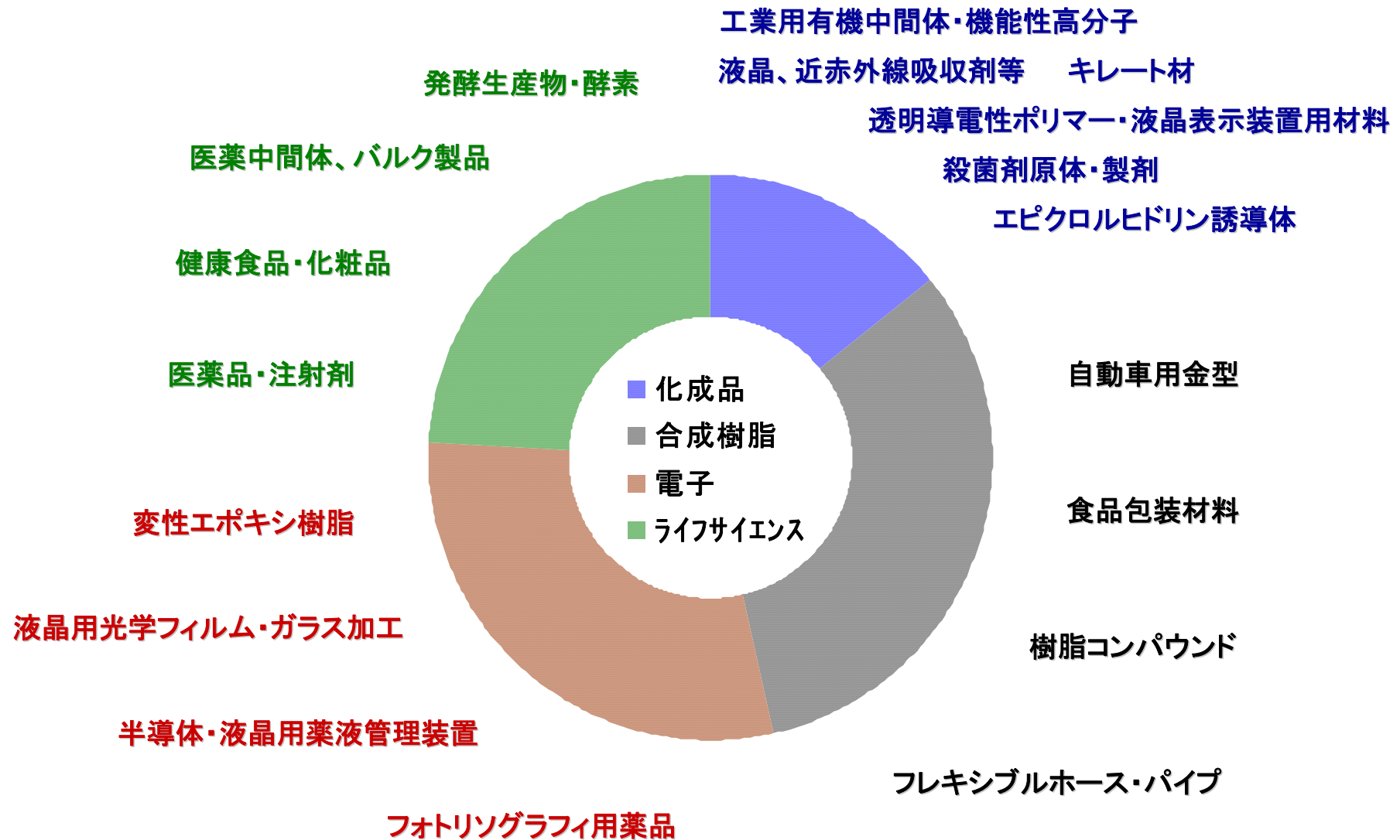
マーケットニーズを的確にとらえた製造機能



グローバルニッチ市場で高シェアを取れる製品の市場投入

高シェアかつ参入障壁が高いことから収益性も高い

セグメント毎の主要製品



ナガセグループの技術力

◆プロセス開発技術

- ・ 不斉相間移動触媒や酵素を利用した非天然型アミノ酸の製法開発
- ・ 光学分割、バイオ(微生物・酵素)、有機合成を駆使したキラル化合物の製法開発(医薬品、医薬中間体、液晶中間体など)

◆酵素開発技術

- ・ 資源化された微生物ライブラリーを利用した新規酵素の探索
- ・ 遺伝子操作を利用した酵素の大量生産
- ・ 組み換え微生物を利用した酵素開発

◆天然物素材の探索・評価技術

- ・ 健康食品、化粧品の新素材開発



ナガセケムテックス福知山事業所



ナガセR&Dセンター(神戸)

投資案件

ナガセケムテックス

- リン脂質製造プラント
- 剥離剤増産対応及びリサイクル設備
- マイクロエレクトロニクス用製造設備
- ナノ粒子製造設備
- 液晶中間体の設備増強

その他

- ナガセ医薬品 液剤設備
- 台湾ガラス加工JV設備
- 長瀬国際電子(深圳) 加工拠点新設



ナガセケムテックス播磨事業所



長瀬国際電子有限公司

知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社

当プレゼンテーション資料には、2006年11月15日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。